

# 「緑の雇用」事業の研修の体系と助成月数(日数)

## 研修の種類

## 実地研修(OJT)

【試用期間】

トライアル雇用

最大3ヶ月(上限60日)



### 集合研修

(都道府県毎に森林組合連合会等に委託して実施)

### 実地研修(OJT)

(事業体毎に実施)

【新規就業者】

林業作業士研修  
(フォレストワーカー)

(1年目)

28日間程度

#### 【安全講習等】

- ・普通救命講習
- ・刈払機取扱作業者
- ・チェーンソー伐倒等業務
- ・玉掛け技能
- ・小型移動式クレーン運転業務

#### 【一般研修(一例)】

- ・現場作業における安全力
- ・チェーンソーのメンテナンス
- ・安全な造林作業
- ・コンパス測量の方法
- ・チェーンソーによる素材生産の進め方

実践研修  
最大8ヶ月  
(上限140日)

(2年目)

29日間程度

#### 【安全講習等】

- ・不整地運搬車運転業務
- ・はい作業従事者
- ・機械集材装置の運転業務
- ・車両系建設機械運転業務
- ・走行集材機械の運転業務

#### 【一般研修(一例)】

- ・森林整備での労働災害
- ・チェーンソーのメンテナンス
- ・GPS測量の方法
- ・かかり木等処理の進め方
- ・安全な伐倒作業の確認

実践研修  
最大8ヶ月  
(上限140日)

(3年目)

21日間程度

#### 【安全講習等】

- ・簡易架線集材装置等の運転業務
- ・伐木等機械の運転業務

#### 【一般研修(一例)】

- ・素材生産での労働災害
- ・車両系高性能林業機械のメンテナンス
- ・森林整備の省力化・低コスト作業
- ・安全なかかり木等処理作業
- ・安全な路網開設・維持作業

実践研修  
最大8ヶ月  
(上限140日)



### 集合研修

【就業経験5年以上】

現場管理責任者研修  
(フォレストリーダー)

16日間程度

#### 【安全講習等】

- ・造林作業の作業指揮者
- ・はい作業主任者
- ・地山の掘削及び土止め支保工作業主任者

#### 【一般研修(一例)】

- ・現場技能者の能力向上を図るための指導方法
- ・コスト管理の考え方・手法
- ・再造林技術
- ・目標林型に向けた施業方法
- ・生産性向上のための作業システム
- ・森林作業道作設の留意点

【就業経験10年以上】

統括現場管理責任者研修  
(フォレストマネージャー)

10日間程度

#### 【安全講習等】

- ・安全衛生推進者養成講習

#### 【一般研修(一例)】

- ・機能する組織づくりとリーダーシップ・コミュニケーション
- ・安全衛生計画の立て方、リスクアセスメント
- ・受注管理、外注管理の進め方
- ・生産性の向上に向けた路網・架線・土場の配置

### 集合研修(オンライン動画の活用等) ※造林の技術習得のみ

### 実地研修(OJT)

【就業中の従事者】

多能工化研修  
(造林・伐採の技術習得)

#### 【一般研修(一例)】

- ・目標林型 主伐・再造林の現状と課題 造林・育林技術
- ・造林・育林事業における省力化、低コスト化

実践研修  
最大2ヶ月  
(上限40日)